

# bPS演習 26 スライド構成案

相互チェック欄 第1チェック者名: \_\_\_\_\_ 第2チェック者名: \_\_\_\_\_  
 \*各チェック者は、A、B、C (A:十分満足 B:おおむね満足 C:努力を要する)の3段階で評価し、口内に記入する。  
 (1)□□IMRAD形式になっている。 (2)□□課題研究の目的・背景が明快に書かれている。 (3)□□どのような方法・手段で情報を収集したのか明快に示されている。

組 番 氏名

① タイトル Title	説明する概要	留意点	⑥ 結果 Results	説明する概要	留意点
<p>ダンゴムシはどのようなメカニズムによって交替性転向反応を示すのか?</p>  <p>1年10組1番 武生 太郎</p>	<p>・ダンゴムシはどのようなメカニズムによって交替性転向反応を示すのか?</p> <p>・学年、クラス、出席番号、名前</p>	<p>何を調べたのかが分かりやすい明快なタイトルを付ける。</p> <p>「～について」というタイトルでは、課題となった対象は分かるが、何を明らかにしたのかが分からない。</p>		<p>・映像解析 逃避行動としての交替性転向反応</p>	<p>写真や表、グラフなどで示すと分かりやすくなる。 図や写真には簡潔な説明を付ける。</p>
<p>はじめに Introduction</p> <p>○ダンゴムシに連続するT字路を歩かせると、左右交互に曲がりながら進む。 ↓ 交替性転向反応</p> <p>○いろいろな生物で知られているが、統一的に説明できる仮説は未だない。</p>	<p>まず、[課題を設定します(背景等)].</p> <p>・交替性転向反応の説明</p> <p>・この問題の背景</p>	<p>「はじめに」では、テーマの背景を簡潔にまとめる。</p> <p>先行研究などの情報から、どのようなことが分かっているのかを明記する。</p>	<p>⑦ 結果 Results</p>	<p>さらに、</p> <p>・論文からの引用</p> <p>・壁沿いに歩行する</p> <p>・T字路では、壁側へ進行方向を変更する。</p> <p>・上記を繰り返すと、左右交互に進むこ</p>	<p>引用文献等は、出典を明らかにする。</p>
<p>はじめに Introduction</p> <p>○BALM仮説 左右の脚にかかる負荷を均等にするために左右交互に曲がる。</p> <p>○壁伝い逃避行動仮説 壁に沿って逃げる逃避行動として説明を試みる。</p>	<p>そこで、[今回の目的を示します].</p> <p>・最も有力な仮説</p> <p>・今回の目的:新たな仮説による説明の試み</p>	<p>今回の調べ学習で、何が明らかになったのか、あるいは何を明らかにしようとしたのか、何を試みたのか等を簡潔に示す。</p>	<p>⑧ 結果 Results</p> <p>○BALM仮説の検証実験を考える 八角形や円の周辺の壁沿いに歩かせた場合、壁沿いに歩行して、周辺を一周するかどうか。</p>	<p>また、...</p> <p>・BALM仮説の検証 八角形や円の周辺の壁沿いに歩かせた場合、壁沿いに歩行して、周辺を一周するかどうか。</p> <p>もし、一周すれば、BALM仮説よりも壁沿いに歩行すると説明した方が適切だと</p>	<p>自分で模式図を描いて説明すると分かりやすくなる。</p>
<p>④ 材料・方法 Methods</p> <p>○オカダンゴムシ ・頭部に2対の触角 ・胸部に7対の歩脚 ・腹部は6節</p> <p>○情報源 インターネットを利用して、論文や動画ダウンロード</p>	<p>では、[まず、材料と調べる方法です].</p> <p>・オカダンゴムシの特徴</p> <p>・情報入手の手段</p> <p>・引用文献、参考文献</p>	<p>どのようなものを材料として使ったのか、どのような方法で調べたのか等を示す。</p>	<p>⑨ 考察 Discussion</p> <p>(1) 逃避行動としての交替性転向反応 (2) 壁沿いに歩行する (3) T字路では壁側へ進路を変える このことが進行方向を左右に交替させる原因となっていると考えられる。</p>	<p>以上のような結果から、...</p> <p>・逃避行動としての可能性</p> <p>・壁伝いに歩行する習性</p> <p>・壁がなくなった場合に壁側に進行方向を変えることの重要性</p> <p>・左右の脚の負荷を均等にするとする見方に対する反証</p>	<p>考察は簡条書きにしてまとめる。</p> <p>はじめに(Introduction)で設定した課題について、きちんと考察する。</p>
<p>⑤ 結果 Results</p> <p>オカダンゴムシの交替性転向反応とは</p>  <p>迷路を歩かせると、左右交互に曲がって進む行動(交替性転向反応)が観察される。</p> <p>Youtubeからダウンロード「ダンゴムシの迷路」</p>	<p>その結果、[次のような結果を得ました].</p> <p>・オカダンゴムシの交替性転向反応の説明</p>	<p>どのような結果を得たのか、簡潔に示す。</p>	<p>⑩ 結論 Conclusion</p> <p>○ダンゴムシの交替性転向反応は、ダンゴムシのおかれた状況と壁伝いに歩く習性を実験的に証明できれば、</p> <p>①壁伝いに歩行する習性と ②直進的な逃避行動の結果生じると説明することが可能かもしれない。</p>	<p>以上をまとめると、...</p> <p>・まとめ 思考実験のまとめ</p> <p>思考実験の結果によっては、壁伝い逃避行動として説明することが可能。</p>	<p>結論は簡潔に示す。</p>

# bPS演習②⑥ スライド構成案

※発表時間5分 スライドの目安:7~10枚

組 番 氏名

相互チェック欄 第1チェック者名: _____	第2チェック者名: _____	
*各チェック者は、A、B、C (A:十分満足 B:おおむね満足 C:努力を要する) の3段階で評価し、□内に記入する。		
(1) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> IMRAD形式になっている。	(2) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 課題研究の目的・背景が明快に書かれている。	(3) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> どのような方法・手段で情報を収集したのか明快に示されている。
(4) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> それぞれのスライドのつながりがわかりやすい。	(5) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 事実と意見を明快に区別している。	(6) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 自分なりの結論、意見が書かれている(コピー&ペーストではダメ)。
(7) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 自分なりの考え方や意見の根拠が明快に示されている。	(8) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 参考文献・引用文献が書かれている。	

①		説明する概要	友人からの意見	⑥		説明する概要	友人からの意見
②				⑦			
③				⑧			
④				⑨			
⑤				⑩			

# bPS演習②⑥ スライド構成案

